

魂を吹き込む人たち

既に全国で上映も始まっており、映画を見ただけの方もたくさんいらっしゃると思います。

この映画の構想から数年経ち、映像化に当たって、この物語に魂を吹き込んでくれる人たちがいます。

それは、権次郎やイトをはじめ、権次郎たちを囲む周囲の人々を演じてくれた俳優さんたちです。

彼らの演技によって、この映画に魂が吹き込まれ、権次郎のあの日の情熱がスクリーンで蘇るのです。

最終回となる今回は、映画にご出演いただいた俳優さんたちのロケ地での様子について少し書きたいと思います。



稲塚監督と映画関係者



撮影中の仲代達矢さん

二人の権次郎

権次郎が新しい種を作るため。また、農業の発展のために様々な土地で情熱を注いだように、演技の世界で情熱を注がれている仲代達矢さんと松崎謙二さんが権次郎を演じてくださいました。

権次郎の若かりし頃を演じられた松崎さんは、映画撮影前から何度も南砺市を訪れ、権次郎の生家跡、勉学に勤しんだ福野高校への通学路、また小麦農林10号を生むのに影響を与えた雪国の郷土の特徴などを自分の目で確かめ、そ

して様々な方へ権次郎の人柄なども聞き取りをされたそうです。

晩年の権次郎を演じられる仲代さんは、地元の農業活動や趣味に活発的に日々を過ごしていた権次郎を演じるため、愛用のバイクでの転倒シーンや、体や顔を泥だらけにするシーンなど、精力的に撮影されていました。

また、仲代さんはこの北陸の地とご縁がある方で、石川県の中島町能登演劇堂の建設時に監修をされ、その後も能登演劇堂で公演を何度もされているそうです。

そんな二人の演じる権次郎を楽しみに映画を見ていただければと思います。

権次郎を愛した二人

権次郎を愛した二人の女性がいます。

一人は息子の可能性を信じ、育種家への道に進ませ見守り続けた母コウ。もう一人は権次郎をそばで支え続けた妻イト。そんな愛情深い二人を演じてくれたのが、いろんなドラマや映画にもご出演されている藤田弓子さんと野村真美さんです。

お二人とも有名な女優さんですが、撮影の際には地元の方へ甘いものの差し入れなどをしてくださるなど気配りをしてくださいました。

また、実在する人を演じるということもあり事前にお墓参りをされたり、妻イトが琴を奏でることから琴の練習をされるなど、撮影に向けていろいろ準備をされたそうです。

権次郎を愛情深く支えた二人のように、この撮影についても表に出ないところで二人の女性によって支えられているのかもしれない。

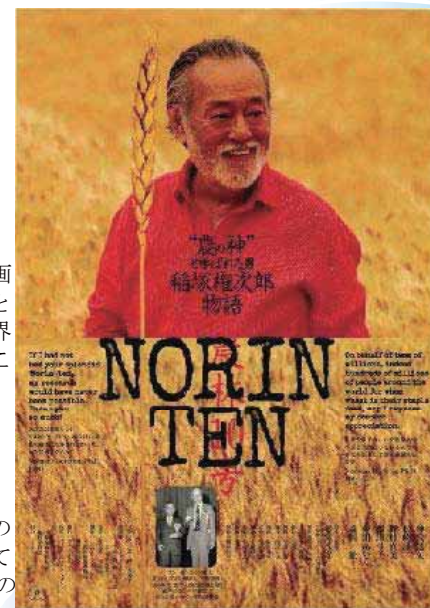
最後に

この映画の脚本の冒頭に「みなさまへ」と稲塚監督からのメッセージが書かれていました。もちろん脚本のため、映画を見る一般の人の目にとまることにはないものです。そのメッセージの最後に「皆様のお力を借りて、素敵な作品に仕上げ世界に届けたいと思います」という強い決意が書かれていました。

たった一人の男の生涯を追った映画を世界に届けるなんて、壮大な夢だと思いますか？いいえ、それは、世界の食糧危機を救った男の生涯だからこそ世界に届ける必要があるのです。

今、日本の農業が抱えている課題は様々です。国内だけでなく、世界を相手にしなくてはいけない時代です。

そんな時だからこそ、たった一粒の種で世界を救った権次郎の話を知ってください。きっとあなたが持つ一粒の種が見つかるかもしれません。そして、その一粒が、世界を変えるかもしれません。



映画ポスター



地元のみなさんとの集合写真

本号まで3回に渡り連載させていただきました。映画を見た方の感想をいただけたら幸いです。